

# 甲南女子大学学則

学校法人 甲南女子学園

## 甲南女子大学学則

### 第1章 目的

**第1条** 本学は、個性尊重・全人教育の伝統を基調として広く知識を授け、深く専門の学術を教授研究し、誠実にして品位ある人格を養うとともに、教養高き女性を育成し国家社会の進運に寄与することを目的とする。

### 第2章 学部・学科の組織及び修業年限

**第2条** 本学に次の学部及び学科を置く。

- (1) 文学部
  - ア 日本語日本文化学科
  - イ メディア表現学科
- (2) 国際学部
  - ア 国際英語学科
  - イ 多文化コミュニケーション学科
- (3) 人間科学部
  - ア 心理学科
  - イ 総合子ども学科
  - ウ 文化社会学科
  - エ 生活環境学科
- (4) 看護リハビリテーション学部
  - ア 看護学科
  - イ 理学療法学科
- (5) 医療栄養学部
  - ア 医療栄養学科

**第2条の2** 学部及び学科における人材育成に関する目的は、次のとおりとする。

- (1) 文学部

人間が作り上げてきた文化・言語および文学・芸術に対する深い関心と幅広い教養を身につける。加えて、言語ならびにメディアの運用力を修得し、円滑な人間関係を築くためのコミュニケーション能力と個性の発現である自己表現力を備えた人材を育成する。

  - ア 日本語日本文化学科

日本語および日本文化についての豊かな教養を身につけ、多角的に社会を捉え、高度で実践的なコミュニケーションスキルを活用しつつ問題の解決にあたる、社会に貢献できる人材を育成する。
  - イ メディア表現学科

メディアを活用した表現行為を、発信と受信の双方向的関係のもとに捉え直し、その作用と影響を考察できる能力を身につけた人材を育成する。
- (2) 国際学部

現代のグローバル社会における社会的・文化的諸課題を理解し、実践的な外国語運用能力と高いコミュニケーション能力によってさまざまな領域で中核的・支援的な役割を果たすことのできる人材を育成する。

  - ア 国際英語学科

世界で仕事をし、貢献する視野とそれを支える知識と能力（世界と自らの文化に対する理解、批判的思考力、論理的表現力）、英語による国際的なコミュニケーションスキル、活動経験を有し、行動的で個としての強さをもった人材を育成する。
  - イ 多文化コミュニケーション学科

実践的な語学力（英語とアジア言語）を習得し、国際的教養及び行動力を身につけ、多様な社会的・文化的背景をもつ人々と協働してグローバル社会における課題解決に努め、国際・地域社会で活躍できる人材を育成する。
- (3) 人間科学部

現代社会に生きる人間を理解し、よりよく生きるために、人間とその環境の多様性・複雑性を科学的・総合的に探求し、社会に生きる人間に関わる現実的な諸課題・諸問題に実践的に関わり、解決していく人材を育成する。

  - ア 心理学科

基礎領域から応用領域まで幅広い心理学教育を行うことで、客観的な観察力、論理的な思考、数量的なデータ処理能力、コミュニケーション力を身につけ、社会で活躍できる人材を育成する。
  - イ 総合子ども学科

人間に対する深い洞察と尊敬をもちながら、子ども学の幅広い視野に立って、子どもを取り巻く問題を他者との協働の中で解決し、学んだ知識や技能を活かして様々な分野で社会に貢献する人材を育成する。
  - ウ 文化社会学科

身近な現代文化に関する興味や関心を起点として、社会現象や社会問題を、幅広い視野で物事を多面的にとらえる社会学の技法を用いて分析し、自分の考えとして社会に向けて示すことができる人材を育成する。

#### エ 生活環境学科

衣食住を中心に、環境に対する人のあり方、健康的な暮らしのあり方等について必要な知識・教養・技術を習得し、持続可能な社会の実現に向けて主体的に行動する能力および態度を身につけた人材を育成する。

#### (4) 看護リハビリテーション学部

豊かな人間性を培い、高いヒューマンケアの視点で看護及びリハビリテーション領域の専門職者としての実践力を備え、医療及び保健福祉の分野で看護学科は看護師、保健師、助産師及び養護教諭として、理学療法学科は理学療法士として、地域社会及び国際社会において活躍できる人材を育成する。

#### ア 看護学科

豊かな人間性と高い倫理観を培い、生命の尊厳を基盤に、対象者とその家族・コミュニティを中心にした看護が実践でき、地域・国際社会で活躍できる人材を育成する。

#### イ 理学療法学科

生命に対する深い畏敬の念と倫理観を身につけ、科学的根拠に基づいた理学療法の専門的知識と技術を習得し、地域社会及び国際社会でチーム医療の一員として活躍できる人材を育成する。

#### (5) 医療栄養学部

知性と品格を磨き、他者を思いやる豊かな人間性と倫理性を養うとともに栄養学の知識と実践力を修得する「全人栄養教育」を理念に掲げて、医療をはじめとする幅広い栄養学関連分野で管理栄養士として地域社会において活躍する人材を育成する。

**第3条** 本学の修業年限は、4年とする。ただし、在学年数は、8年を超えることはできない。

### 第3章 学 年 、 学 期 及 び 休 業 日

**第4条** 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

**第5条** 学年を分けて次の各号に掲げる2学期とし、その期間は、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 前期 4月1日から9月20日まで
- (2) 後期 9月21日から翌年3月31日まで

**第6条** 休業日は、次のとおりとする。ただし、休業日においても必要ある場合は、授業を行うことがある。

- (1) 土曜日及び日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (3) 創立記念日（11月27日）
- (4) 夏期休業日（8月1日から9月20日まで）
- (5) 冬期休業日（12月23日から翌年1月9日まで）
- (6) その他学長が必要と認めた日

### 第4章 教 職 員 組 織

**第7条** 本学に学長を置く。

2 本学に副学長を置くことができる。

3 本学の各学部に学部長を置く。

**第8条** 本学に教授、准教授、講師、助教及び助手を置く。

**第9条** 本学に事務職員を置く。

**第10条** 本学に大学評議会を置く。

2 大学評議会に関する規程は、別に定める。

**第11条** 本学の各学部に教授会を置く。教授会は、教授をもって構成する。ただし、必要ある場合は、准教授、講師及び助教を加えることができる。

**第12条** 教授会に関する規程は、別に定める。

**第12条の2** 本学に合同教授会を置く。

2 合同教授会に関する規程は、別に定める。

### 第5章 授 業 科 目 及 び 単 位 数

**第13条** 本学の授業科目は、共通科目及び専攻科目に分け、別に保育士、フードスペシャリスト、レクリエーションインストラクター、教職、司書及び学芸員の資格取得に関する科目を置く。

2 保育士の資格を取得しようとする者は、児童福祉法施行規則（昭和23年厚生省令第11号）第6条の2第1項第3号の規定により、別表第2に定める保育士の資格に係る科目の単位を取得しなければならない。

3 保育士の資格に係る科目の履修については、別にこれを定める。

**第14条** 本学の授業科目及び単位数は、別表第1、別表第2、別表第2の2のとおりとする。

**第15条** 各授業科目に対する単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することとし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準によ

って計算する。

- (1) 講義及び演習については、15 時間又は 30 時間の授業をもって 1 単位とする。
  - (2) 実験、実習及び実技については、30 時間、40 時間又は 45 時間の授業をもって 1 単位とする。
  - (3) 1 の授業科目について、講義、演習、実験又は実習のうち 2 以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前 2 号に規定する基準により算定した時間の授業をもって 1 単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これら学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。
- 3 第 1 項に規定する講義、演習、実験、実習及び実技による授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 第 15 条の 2** 1 年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35 週にわたることを原則とする。

## 第 6 章 履 修 方 法

**第 16 条** 学生は、原則として、本学において定める教育課程に従い、各年次に配当された授業科目を履修するものとする。

**第 17 条** 学生は、履修しようとする授業科目を所定の期日までに届け出なければならない。ただし、後期に始まる授業科目については、別に定めるところにより授業科目の追加又は変更を行うことができる。

**第 18 条** 学生は、次の各号に定める単位数を履修し、卒業に必要な単位数として、文学部、国際学部、人間科学部、看護リハビリテーション学部及び医療栄養学部は計 124 単位以上を修得しなければならない。

- (1) 文学部 日本語日本文化学科・メディア表現学科
  - I 全学共通科目 計 30 単位以上
    - ア 基礎科目 2 単位以上
    - イ 教養科目 10 単位以上
    - ウ 総合科目
      - (ア) 女性とジェンダー科目 2 単位以上
      - (イ) 国際理解科目、芸術科目及びキャリア支援科目 6 単位以上
    - エ 言語・情報科目
      - (ア) 言語科目 8 単位以上
      - (イ) 情報科目 2 単位以上
  - II 自学科専攻科目
    - 日本語日本文化学科 62 単位以上
    - メディア表現学科 66 単位以上
- (2) 国際学部 国際英語学科・多文化コミュニケーション学科
  - I 全学共通科目 計 30 単位以上
    - ア 基礎科目 2 単位以上
    - イ 教養科目 10 単位以上
    - ウ 総合科目
      - (ア) 女性とジェンダー科目 2 単位以上
      - (イ) 国際理解科目、芸術科目及びキャリア支援科目 6 単位以上
    - エ 言語・情報科目
      - (ア) 言語科目 8 単位以上
      - (イ) 情報科目 2 単位以上
  - II 自学科専攻科目
    - 国際英語学科 68 単位以上
    - 多文化コミュニケーション学科 76 単位以上
- (3) 人間科学部 心理学科・文化社会学科・生活環境学科
  - I 全学共通科目 計 30 単位以上
    - ア 基礎科目 2 単位以上
    - イ 教養科目 10 単位以上
    - ウ 総合科目
      - (ア) 女性とジェンダー科目 2 単位以上
      - (イ) 国際理解科目、芸術科目及びキャリア支援科目 6 単位以上
    - エ 言語・情報科目
      - (ア) 言語科目 8 単位以上
      - (イ) 情報科目 2 単位以上
  - II 自学科専攻科目
    - 心理学科 56 単位以上
    - 文化社会学科 64 単位以上
    - 生活環境学科 62 単位以上
- (4) 人間科学部 総合子ども学科

- I 全学共通科目 計 24 単位以上
    - ア 基礎科目 2 単位以上
    - イ 教養科目 6 単位以上
    - ウ 総合科目 6 単位以上
      - (ア) 女性とジェンダー科目 2 単位以上
      - (イ) 国際理解科目、芸術科目及びキャリア支援科目 4 単位以上
    - エ 言語・情報科目
      - (ア) 言語科目 8 単位以上
      - (イ) 情報科目 2 単位以上
  - II 自学科専攻科目 70 単位以上
- (5) 看護リハビリテーション学部 看護学科・理学療法学科
- I 全学共通科目 計 20 単位以上
    - ア 基礎科目 2 単位以上
    - イ 教養科目 6 単位以上
    - ウ 総合科目 2 単位以上
    - エ 言語・情報科目
      - (ア) 言語科目 8 単位以上
      - (イ) 情報科目 2 単位以上
  - II 自学科専攻科目
    - 看護学科 104 単位以上
    - 理学療法学科 101 単位以上
- (6) 医療栄養学部 医療栄養学科
- I 全学共通科目 計 20 単位以上
    - ア 基礎科目 2 単位以上
    - イ 教養科目 6 単位以上
    - ウ 総合科目 2 単位以上
    - エ 言語・情報科目
      - (ア) 言語科目 8 単位以上
      - (イ) 情報科目 2 単位以上
  - II 自学科専攻科目
    - 医療栄養学科 98 単位以上
- 2 他学部科目、他学科科目及び資格科目における取得単位を次の各号に定める範囲において、卒業に必要な単位に充てることができる。
- (1) 文学部
    - ア 日本語日本文化学科 32 単位以内
    - イ メディア表現学科 28 単位以内
  - (2) 国際学部
    - ア 国際英語学科 26 単位以内
    - イ 多文化コミュニケーション学科 18 単位以内
  - (3) 人間科学部
    - ア 心理学科 38 単位以内
    - イ 総合子ども学科 30 単位以内
    - ウ 文化社会学科 30 単位以内
    - エ 生活環境学科 32 単位以内
  - (4) 看護リハビリテーション学部
    - ア 理学療法学科 3 単位以内
  - (5) 医療栄養学部
    - ア 医療栄養学科 6 単位以内
- 第 18 条の 2** 教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む。以下同じ。）との協議に基づき、学生が他の大学又は短期大学の授業科目を履修することを認めることができる。
- 2 前項の規定により学生が履修した授業科目について修得した単位は、教授会の議を経て学長の決定に基づき、60 単位を限度として前条の単位数に算入することができる。
- 第 18 条の 3** 教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることがある。
- 2 前項の規定による学修について与えた単位は、教授会の議を経て学長の決定に基づき、前条第 2 項の規定により第 18 条の単位数に算入することができる単位数と合わせて 60 単位を限度として第 18 条の単位数に算入することができる。
- 第 18 条の 4** 教育上有益と認めるときは、学生が入学前に大学又は短期大学において修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を入学後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、又は学生が入学前に行った前条第 1 項に規定する学修を本学における授業科目の履修とみなして単位を与えることができる。

2 編入学、転入学等の場合を除き、前項の規定により修得したものとみなし、又は与えることがある単位は、教授会の議を経て学長の決定に基づき、本学において修得した単位以外のものについては、第18条の2第2項及び前条第2項の規定により第18条の単位数に算入することができる単位数と合わせて60単位を限度として第18条の単位数に算入することができる。

第18条の5 第18条第1項の規定により、卒業に必要な単位数のうち、第15条第3項に規定する授業の方法で履修し修得した単位は、60単位を限度として第18条の単位数に算入することができる。ただし、卒業に必要な単位数が124単位を超える学部にあつては、そのを超える単位数を60単位に加えて算入することができる。

第19条 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第27号）に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 本学の各学部・学科において、当該所要資格を取得できる教員の免許状の種類は、次の表に掲げるとおりとする。

学部・学科	教員の免許状の種類	免許教科
文 学 部		
日本語日本文化学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国語 国語
国 際 学 部		
国際英語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英語 英語
人 間 科 学 部		
総合子ども学科	幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状	
看護リハビリテーション学部		
看護学科	養護教諭一種免許状	
医 療 栄 養 学 部		
医療栄養学科	栄養教諭一種免許状	

第19条の2 司書の資格を取得しようとする者は、図書館法（昭和25年法律第118号）及び図書館法施行規則（昭和25年文部省令第27号）に基づき、別表第2で定める科目及び単位を修得しなければならない。

第19条の3 学芸員の資格を取得しようとする者は、博物館法（昭和26年法律第285号）及び博物館法施行規則（昭和30年文部省令第24号）に基づき、別表第2で定める科目及び単位を修得しなければならない。

## 第7章 収 容 定 員

第20条 本学の収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

学部・学科	入学定員	編入学定員	収容定員
文 学 部			
日本語日本文化学科	80名	—	320名
メディア表現学科	70名	—	280名
国 際 学 部			
国際英語学科	110名	—	440名
多文化コミュニケーション学科	80名	—	320名
人 間 科 学 部			
心理学科	90名	—	360名
総合子ども学科	150名	—	600名
文化社会学科	80名	—	320名
生活環境学科	80名	—	320名
看護リハビリテーション学部			
看護学科	100名	—	400名
理学療法学科	60名	—	240名

医 療 栄 養 学 部			
医 療 栄 養 学 科	80 名	—	320 名

## 第8章 入学、休学、復学、退学、転部・転科、転学、学士入学及び再入学

**第21条** 入学の時期は、学年の初めとする。

**第22条** 本学に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学試験資格審査により、高等学校卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者

**第23条** 入学志願者に対しては、入学者選考を行う。

2 前項に規定する選考の時期及び方法は、別に定める。

**第24条** 入学志願者は、入学願書、出身学校長から提出する調査書その他本学の必要とする書類を所定の期日までに提出し、第49条に規定する入学検定料を納入しなければならない。

**第25条** 入学試験に合格し、所定の期日までに第51条に規定する学費を納め、かつ、保証人連署の誓約書及び本学所定の書類を提出した者に対して入学を許可する。

2 保証人は、父母又はこれに代わるべき者で、独立の生計を営み、保証人としての責務を確実に果たし得る者でなければならない。

3 本学が保証人として不適当と認めるときは、その変更を命ずることがある。

4 学生が保証人を変更しようとするときは、新・旧保証人連署の上直ちに届け出、又は保証人が住所・氏名を変更したときは、直ちに届け出なければならない。

5 学生が住所・氏名を変更したときは、保証人連署の上直ちに届け出なければならない。

**第26条** 病気その他やむを得ない理由によって1学期以上就学できない者は、保証人連署の上願い出で、休学の許可を得なければならない。ただし、病気による休学の場合は、医師の診断書を添付するものとする。

2 休学の期間は、その学年度内とし、願い出によって引き続き1年以内休学することができる。

3 休学の期間は、継続して2年、通算して4年を超えることはできない。

4 休学の期間は、第3条に規定する在学年数に算入しない。

**第27条** 休学者が復学しようとするときは、保証人連署の上願い出で、許可を得なければならない。ただし、病気による休学者が復学しようとする場合は、医師の診断書を添付するものとする。

2 復学の時期は、学期の初めとする。

**第28条** 病気その他やむを得ない理由によって退学しようとする者は、保証人連署の上願い出で、許可を得なければならない。

**第29条** 次の各号の一に該当する者で、本学に編入学、転入学、学士入学又は再入学を願い出た者があるときは、選考の上相当の年次に入学を許可することができる。

(1) 編入学

ア 短期大学（外国の短期大学を含む。）を卒業した者

イ 高等専門学校を卒業した者

ウ 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たす者に限る。）を修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）

エ 他の大学（外国の大学を含む。以下この項において同じ。）に2年以上在学した後、退学した者

オ 本学に2年以上在学した後、退学した者で、第4号の規定に該当しない者

(2) 転入学 他の大学に在学中の者

(3) 学士入学 学士の学位を有する者（外国において学士に相当する学位を授与された者を含む。）

(4) 再入学 前条により退学した者で、4年以内に再入学を志望した者

2 帰国子女の編入学及び転入学の場合、入学の時期は、前期又は後期の初めとすることができる。

3 第1項第1号、第2号、第3号及び第4号により編入学・転入学・学士入学・再入学した者の在学年数及び単

位数については、元の大学等の在学年数・単位数の全部又は一部を算入することができる。

**第30条** 学生が他の学部・学科に転部・転科しようとするときは、選考の上許可することができる。

2 転部・転科に関する規程は、別に定める。

**第31条** 本学から他の大学に転学しようとする者は、その事由を具して学長に願い出て、許可を得なければならない。

**第32条** 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て学長が除籍について決定する。

- (1) 第3条ただし書に定める在学年数を越えた者
- (2) 第26条第3項に定める休学の期間を超えて、なお復学できない者
- (3) 学費の納入を怠り、督促してもなお納入しない者
- (4) 長期にわたり行方不明の者

2 前項第3号により除籍された者が復籍を願い出るときは、選考の上許可することができる。

## 第9章 外国人留学生

**第33条** 外国人で本学に入学しようとする者は、選考の上、外国人留学生として入学を許可することができる。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定された外国籍を有する者は除く。

**第34条** 外国人留学生として本学に入学することができる者は、外国において学校教育における12年の課程を修了した者とする。

**第35条** 外国人留学生の取扱いについては、甲南女子大学外国人留学生取扱規程の定めるところによる。

## 第10章 科目等履修生、聴講生、特別聴講生、 研究生、委託生及び外国人特別生

**第36条** 第22条の各号のいずれかに該当する者が、本学の授業科目中の一部について単位を修得するために履修を願い出るときは、学生の学修に支障のない限り、別に定めるところにより科目等履修生として許可することができる。

2 前項の規定にかかわらず、別に定めるところにより履修を願い出る者があるときは、科目等履修生として許可することができる。

**第36条の2** 科目等履修生を志願する者に対しては、検定を行う。

**第36条の3** 科目等履修生の検定を受けようとする者及び科目等履修生として許可された者は、第52条に規定する履修検定料及び履修料をそれぞれ所定の期日までに納入しなければならない。

**第36条の4** 科目等履修生として修得した単位は、当該科目等履修生が本学に入学後、教授会の議を経て学長の決定に基づき、第18条に規定する単位数に算入することができる。

**第37条** 第22条の各号のいずれかに該当する者が、本学の授業科目中の一部について聴講を願い出るときは、学生の学修に支障のない場合に限り、許可することができる。

**第38条** 聴講を許可された者は、第53条に規定する登録料・聴講料を所定の期日までに納入しなければならない。

**第39条** 他の大学又は短期大学との協議に基づき、当該他の大学又は短期大学の学生が本学の授業科目中的一部分について単位を修得するために履修を願い出るときは、学生の学修に支障のない限り、特別聴講生として許可することができる。ただし、特別聴講生が修得できる単位数は、30単位以下とする。

**第40条** 他の大学又は公共機関から研究生又は委託生として推薦された者が学修を願い出るときは、学生の学修に支障のない限り、許可することができる。

**第41条** 第34条に規定する入学資格を持たない外国人が、外務省、在外公館又は本邦所在の外国公館の紹介によって、本学の授業科目中的一部分について学修を願い出るときは、外国人特別生として許可することができる。

**第42条** 特別聴講生、研究生、委託生及び外国人特別生の授業料その他の納付金については、聴講生に準ずる。

**第43条** 科目等履修生及び特別聴講生については、第47条から第51条の8までを除き、この学則を準用する。

**第44条** 聴講生、研究生、委託生及び外国人特別生については、第18条から第19条の4まで及び第45条から第52条までを除き、この学則を準用する。

## 第11章 試験及び単位の認定

**第45条** 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

**第46条** 試験は、授業科目試験及び卒業研究とする。

2 授業科目試験は、学期末及び学年末に行う。

3 卒業研究は、卒業年次に行い、卒業研究の題目は、あらかじめ当該学科の教授の承認を得なければならない。

4 試験の方法は、筆記試験又は口述試験による。ただし、教授会においてこれに代わる方法を認めた授業科目については、この限りでない。

5 成績の評価は、AA・A・B・C・Dの5段階とし、AA・A・B・Cを合格、Dを不合格、Fを失格とする。

6 病気その他やむを得ない理由によって試験に欠席した者は、所定の期日までに願い出て許可を得た場合に限り、追試験を受けることができる。



## 第12章 卒業及び学位

**第47条** 本学に4年以上在学し、第18条に規定する単位数を修得した者には、教授会の議を経て学長が卒業の認定について決定する。

**第48条** 本学を卒業した者に対し、学長は、学士の学位を授与する。

2 前項に定める学位の種類は、次の各号に掲げる学部・学科ごとにそれぞれ当該各号に定める学位とする。

- (1) 文学部日本語日本文化学科 学士（日本語日本文化）
- (2) 文学部メディア表現学科 学士（メディア表現学）
- (3) 国際学部国際英語学科 学士（国際英語）
- (4) 国際学部多文化コミュニケーション学科 学士（学術）
- (5) 人間科学部心理学科 学士（心理学）
- (6) 人間科学部総合子ども学科 学士（教育学）
- (7) 人間科学部文化社会学科 学士（社会学）
- (8) 人間科学部生活環境学科 学士（生活環境学）
- (9) 看護リハビリテーション学部看護学科 学士（看護学）
- (10) 看護リハビリテーション学部理学療法学科 学士（理学療法学）
- (11) 医療栄養学部医療栄養学科 学士（医療栄養学）

**第48条の2** 学位に関し必要な事項は、別に定める。

## 第13章 学費

**第49条** 入学検定料は、3万5千円とする。

**第50条** 「学費」とは、入学金、授業料、教育施設充実費をいう。

2 実験・実習に要する費用は、別にその実費を徴収することがある。

**第51条** 授業料等の学費は、別表第3に定める額とする。

**第51条の2** 学費は、毎年4月末日までに納入しなければならない。ただし、分納を希望する者は、所定の金額を前期及び後期に分け、毎年4月末日及び10月末日までに納入するものとする。

2 新入学生の入学時における学費の納入時期は、別に定める。

3 本学は、前2項に定める納入期日までに授業料等納付書を保証人のもとへ郵送する。

**第51条の3** やむを得ない事情により、前条第1項に定める納入期日までに学費の納入ができない者は、延納願を経理課へ提出し、学長の許可を得なければならない。

2 学費の延納を許可された者の延納期限は、5ヵ月とする。

3 前項の延納を許可された者がなお納入できないときは、再延納願を提出し、その許可を得た場合に限り、更に3ヵ月の再延納を認めることができる。

4 卒業年次後期の場合のみ、第2項に定める延納期限は、3ヵ月とし、再延納は、認めない。

**第51条の4** 前条に定めるもの以外の学生で、正当な理由なく第51条の2第1項に定める納入期日までに学費を納入せず、納期後2ヵ月以内に督促してもなお学費未納の者は、除籍する。

2 学費未納のため除籍された者の最終在学日付は、既に学費を納入した学年又は学期の末日とする。

3 第1項により除籍された者が除籍後2ヵ月以内に学費を完納した場合は、復籍を認めることができる。

**第51条の5** 第32条第2項により復籍を願い出て許可された者は、10日以内に別表第4に定める復籍料を納入しなければならない。

2 復籍を許可された者の学費は、当該入学年次に対して定めた額とする。

**第51条の6** 休学期間中の学費は、徴収しない。ただし、休学期間中の在籍料は、休学期間が通年の場合は年間100,000円とし、休学期間が半期の場合は50,000円とする。2 休学者が年度外復学した場合の学費は、当該入学年次に対して定めた額とする。

**第51条の7** 単位未修得のため卒業を延期された者の学費は、当該入学年次に対して定めた額の半額とする。

**第51条の8** 再入学者及び編入学者の学費は、当該年度の入学金及び当該年次の授業料等の学費とする。

**第52条** 科目等履修生の履修検定料は、20,000円とし、履修料は、1単位につき10,000円とする。

**第53条** 聴講生は、登録料として8,000円、聴講料1単位につき、授業科目が講義又は演習の場合は5,000円、実験実習及び実験実習を伴う場合は6,000円を納入しなければならない。

**第54条** 既に納入した学費及びその他の納付金は、返還しない。

**第55条** 学費を納入しない者は、試験を受けることができない。

## 第14章 賞罰

**第56条** 学業が特に優秀な者又は学生の模範となる行為をした者は、教授会の議を経て学長が表彰について決定することがある。

**第57条** 本学教育の趣旨に背き、又は学生の本分に反する行為をした者は、教授会の議を経て学長が懲戒について決定する。

2 懲戒は、けん責、停学及び退学とする。

- 3 退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
  - (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
  - (3) 正当の理由がなくて出席常でない者
  - (4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

## 第15章 図書館

- 第58条 本学に図書館を置く。
- 2 図書館に関する細則は、別に定める。

## 第16章 保健センター

- 第59条 本学に保健センターを置く。
- 2 保健センターに関する規程は、別に定める。

## 第17章 公開講座

- 第60条 公開講座は、教授会の議を経て学長の決定に基づき随時開設する。

## 第18章 厚生施設

- 第61条 本学に学生寮を置く。
- 2 学生寮に関する規則は、別に定める。

### 附則

この学則は、昭和39年4月1日から施行する。

### 附則

この学則(改正)は、昭和41年4月1日から施行する。

### 附則

この学則(改正)は、昭和46年4月1日から施行する。

### 附則

この学則(改正)は、昭和48年4月1日から施行する。

### 附則

この学則(改正)は、昭和49年4月1日から施行する。

### 附則

この学則(改正)は、昭和51年4月1日から施行する。

### 附則

この学則(改正)は、昭和52年4月1日から施行する。

### 附則

この学則(改正)は、昭和53年4月1日から施行する。

### 附則

この学則(改正)は、昭和54年4月1日から施行する。

### 附則

この学則(改正)は、昭和55年4月1日から施行する。

### 附則

この学則(改正)は、昭和56年4月1日から施行する。

### 附則

この学則(改正)は、昭和57年4月1日から施行する。

### 附則

この学則(改正)は、昭和58年4月1日から施行する。

### 附則

この学則(改正)は、昭和58年10月1日から施行する。

### 附則

この学則(改正)は、昭和59年4月1日から施行する。

### 附則

この学則(改正)は、昭和60年4月1日から施行する。

### 附則

この学則(改正)は、昭和61年4月1日から施行する。ただし、第20条の規定にかかわらず、昭和61年度から平成11年度までの間の入学定員は、次の表に掲げるとおりとする。

学部・学科等	入学定員
--------	------

文学部	人
国文学科	200
英文学科	200
フランス文学科	80
人間関係学科	200

## 附則

- この学則（改正）は、昭和62年4月1日から施行する。
- 第49条の入学検定料は、推薦入試（前年11月）から適用する。

## 附則

この学則（改正）は、昭和63年4月1日から施行する。

## 附則

この学則（改正）は、平成元年4月1日から施行する。

## 附則

この学則（改正）は、平成2年4月1日から施行する。ただし、平成2年3月31日までに入学した者については、別表第1及び別表第2は、なお、従前の例による。

## 附則

この学則（改正）は、平成3年4月1日から施行する。ただし、別表第2のうち、教育職員免許関係科目については平成2年度入学者から、また、国文学科の国文学科目については平成3年度入学者から適用し、それぞれ当該年度前に入学した者については、なお、従前の例による。

## 附則

この学則（改正）は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第47条から第48条の2まで及び別表第2は、平成3年7月1日から適用する。

## 附則

この学則（改正）は、平成5年4月1日から施行する。ただし、第7条、第15条、第15条の2、別表第1共通科目表A群c分野の「地球環境論」及び別表第2専攻科目表人間関係学科の「行動科学統計」を除き、平成5年3月31日までに入学した者については、なお、従前の例による。

## 附則

この学則（改正）は、平成6年4月1日から施行する。ただし、平成6年3月31日までに入学した者については、別表第2は、なお、従前の例による。

## 附則

この学則（改正）は、平成7年4月1日から施行する。ただし、平成7年3月31日までに入学した者については、改正前の第18条の規定は、なお、効力を有し、改正前の授業科目の名称は、別に定めるところにより改正後の授業科目の名称に読み替えるものとする。

## 附則

この学則（改正）は、平成8年4月1日から施行する。ただし、平成8年3月31日までに入学した者については、なお、従前の例による。

## 附則

この学則（改正）は、平成9年4月1日から施行する。

## 附則

この学則（改正）は、平成10年4月1日から施行する。ただし、平成10年3月31日までに入学した者については、改正後の第50条第1項及び別表第6を適用せず、なお、従前の例による。

## 附則

この学則（改正）は、平成11年4月1日から施行する。

## 附則

この学則（改正）は、平成12年4月1日から施行する。ただし、平成12年3月31日までに入学した者については、別表第1及び別表第2は、なお、従前の例によるものとし、また、第20条の規定にかかわらず、平成12年度から平成18年度までの間の入学定員及び収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

年度	日本語日本文学科		英語英米文学科		フランス語 フランス文学科	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
平成12年度	190名	790名	190名	790名	80名	320名
平成13年度	170名	760名	180名	770名	70名	310名
平成14年度	160名	720名	170名	740名	70名	300名
平成15年度	150名	670名	160名	700名	70名	290名
平成16年度	140名	620名	150名	660名	70名	280名

平成 17 年度	140 名	590 名	150 名	630 名	70 名	280 名
平成 18 年度	140 名	570 名	150 名	610 名	70 名	280 名

## 附 則

この学則（改正）は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 13 年 3 月 31 日までに入学した者については、なお従前の例により、また、第 49 条の入学検定料は、推薦入試（前年 11 月）から適用する。

## 附 則

- この学則（改正）は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表第 1 全学共通科目表中、メディア科目 外国語群に掲げる日本語科目及びフードスペシャリストの資格取得に関する科目に掲げる授業科目「食品の官能評価・鑑別演習」については、平成 13 年度入学者から適用する。
- 別表第 1 全学共通科目表中、特設科目群に掲げる授業科目は、大学洋上セミナーひょうごの講義担当大学を本学が担当して実施する当該年度期間中に限り、開講する。

## 附 則

この学則（改正）は、平成 14 年 5 月 25 日から施行する。

## 附 則

この学則（改正）は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表第 2 多文化共生学科専攻科目表中の多文化共生演習科目群に掲げる授業科目「多文化海外演習Ⅰ」及び「多文化海外演習Ⅱ」については、平成 14 年 4 月 1 日から適用する。

## 附 則

この学則（改正）は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

## 附 則

- この学則（改正）は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
- 第 18 条の規定、別表第 2 行動社会学科専攻科目表に掲げる授業科目「社会調査の基礎」及び人間科学部共通科目表については、平成 17 年度入学者から適用し、平成 17 年 3 月 31 日までに入学した者については、なお、従前の例による。
- 第 20 条の規定にかかわらず、平成 17 年度から平成 19 年度までの収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

年度	学科等	日本語日本文学科	フランス語 フランス文学科
		収容定員	収容定員
平成 17 年度		580 名	260 名
平成 18 年度		550 名	240 名
平成 19 年度		530 名	220 名

- 別表第 2 英語英米文学科専攻科目表中の卒業研究科目群備考欄に掲げる選択必修単位数については、平成 15 年度入学者から適用し、平成 15 年 3 月 31 日までに入学した者については、なお、従前の例による。

## 附 則

- この学則（改正）は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 18 年 3 月 31 日までに入学した者については、別表第 2 の 2 に掲げる授業科目群を除き、なお、従前の例による。
- 第 20 条の規定にかかわらず、平成 18 年度から平成 20 年度までの収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

年度	学科等	日本語日本文学科	英語英米文学科
		収容定員	収容定員
平成 18 年度		520 名	590 名
平成 19 年度		470 名	560 名
平成 20 年度		430 名	540 名

## 附 則

- この学則（改正）は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 19 年 3 月 31 日までに入学した者については、別表第 1 全学共通科目表中、展開科目群に掲げる授業科目「キャリア・デザイン C」及び「キャリア・デザイン D」を除き、なお、従前の例による。
- 第 20 条の規定にかかわらず、平成 19 年度から平成 21 年度までの収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

年度	学科等	日本語日本文学科	英語英米文学科	多文化共生学科
		収容定員	収容定員	収容定員
平成 19 年度		430 名	540 名	280 名
平成 20 年度		430 名	540 名	280 名
平成 21 年度		430 名	540 名	280 名

平成 19 年度	450 名	550 名	340 名
平成 20 年度	390 名	520 名	320 名
平成 21 年度	340 名	490 名	300 名

**附 則**

この学則（改正）は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 20 年 3 月 31 日までに入学した者については、次の表に掲げる授業科目を除き、なお、従前の例による。

（次の表略）

**附 則**

1 この学則（改正）は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 21 年 3 月 31 日までに入学した者については、次の表に掲げる授業科目を除き、なお、従前の例による。

（次の表略）

2 第 20 条の規定にかかわらず、平成 21 年度から平成 23 年度までの収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

年度	学科等	看護学科
		収容定員
平成 21 年度		360 名
平成 22 年度		355 名
平成 23 年度		355 名

**附 則**

この学則（改正）は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 22 年 3 月 31 日までに入学した者については、次の表に掲げる授業科目を除き、なお、従前の例による。

（次の表略）

**附 則**

この学則（改正）は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 23 年 3 月 31 日までに入学した者については、次の表に掲げる授業科目を除き、なお、従前の例による。

（次の表略）

**附 則**

この学則（改正）は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 24 年 3 月 31 日までに入学した者については、次の表に掲げる授業科目を除き、なお、従前の例による。

（次の表略）

**附 則**

1 この学則（改正）は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

2 第 20 条の規定にかかわらず、平成 26 年度及び平成 27 年度の看護学科の収容定員は、355 名とする。

**附 則**

この学則（改正）は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 25 年 3 月 31 日までに入学した者については、なお、従前の例による。

**附 則**

この学則（改正）は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 26 年 3 月 31 日までに入学した者については、なお、従前の例による。

**附 則**

1 この学則（改正）は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 27 年 3 月 31 日までに入学した者については、なお、従前の例による。

2 第 20 条の規定にかかわらず、平成 27 年度から平成 29 年度までのメディア表現学科及び看護学科の収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

年度	学科等	メディア表現学科	看護学科
		収容定員	収容定員
平成 27 年度		250 名	365 名
平成 28 年度		260 名	380 名
平成 29 年度		270 名	390 名

**附 則**

この学則（改正）は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 27 年 3 月 31 日までに入学した者については、なお、従前の例による。

**附 則**

- 1 この学則（改正）は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 28 年 3 月 31 日までに入学した者については、なお、従前の例による。
- 2 第 20 条の規定にかかわらず、平成 28 年度から平成 30 年度までの総合子ども学科の収容定員は、次の表に掲げるとおりとする。

年度	学科等	総合子ども学科
		収容定員
平成 28 年度		510 名
平成 29 年度		540 名
平成 30 年度		570 名

**附 則**

この学則（改正）は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 28 年 3 月 31 日までに入学した者については、なお、従前の例による。

**附 則**

この学則（改定）は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 29 年 3 月 31 日までに入学した者については、なお、従前の例による。

**附 則**

この学則（改正）は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 30 年 3 月 31 日までに入学した者については、なお、従前の例による。

**附 則**

- 1 この学則（改正）は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし、別表第 2 人間科学部心理学科専攻科目「障害者・障害児心理学」については、平成 30 年 4 月 1 日から適用する。
- 2 別表第 2 人間科学部心理学科専攻科目「障害者・障害児心理学」を除き、平成 31 年 3 月 31 日までに入学した者については、なお、従前の例による。

**附 則**

この学則（改正）は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 2 年 3 月 31 日までに入学した者については、なお、従前の例による。

**附 則**

この学則（改正）は、令和 2 年 5 月 27 日から施行し、令和 2 年 4 月 1 日から適用する。ただし、改正後の第 15 条第 3 項及び第 18 条の 5 を除き、なお、従前の例による。

**附 則**

この学則（改正）は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 3 年 3 月 31 日までに入学した者については、なお、従前の例による。

**附 則**

この学則（改正）は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 4 年 3 月 31 日までに入学した者については、なお、従前の例による。

別表第1 全学共通科目表

群		授 業 科 目	単 位		備 考
			必修	選択	
基礎科目	科目 大学	大学を知る		2	
	科目 基礎スキル	アカデミックスキルズ		2	
		グループ討論トレーニング		2	
		リーダーシップ開発Ⅰ		2	
		リーダーシップ開発Ⅱ		2	
		思考力トレーニング		2	
		日本語リテラシーⅠ		2	
		日本語リテラシーⅡ		2	
教養科目	人文科学科目	哲学入門		2	
		倫理学入門		2	
		宗教学入門		2	
		日本古典文学入門		2	
		日本近代文学入門		2	
		日本文化史		2	
		言語学入門		2	
		社会言語学入門		2	
		心理学概論		2	
		人間関係論		2	
		美術史概説		2	
		民俗学概論		2	
		考古学概論		2	
		日本史概説		2	
		外国史概説		2	

群	授 業 科 目	単 位		備 考	
		必修	選択		
	社会科学科目	日本国憲法	2		
		法学概論	2		
		政治学概論	2		
		経済学概論	2		
		社会学概論	2		
		メディア表現入門	2		
		人権教育	2		
		ボランティア論	2		
		文化人類学入門	2		
		環境にやさしい暮らし	2		
		子ども・子育て入門	2		
		AIとライフデザイン	2		
	人文地理学	2			
	自然科学科目	生物学の基礎		2	
		化学の基礎		2	
		生化学の基礎		2	
		物理学の基礎		2	
		数学の基礎		2	
		統計学の基礎		2	
		生態学入門		2	
		生命科学入門		2	
		自然環境学入門		2	
		地球環境論		2	
	自然地理学		2		
	健康科学科目	看護学の世界		2	
		女性の生涯と健康		2	
		保健概論		2	
		リハビリテーション入門		2	
		健康に生きる		2	
		女性と運動		2	
女性のための栄養学		2			



群	授 業 科 目	単 位		備 考	
		必修	選択		
総合科目	女性とジェンダー科目	ジェンダー論入門		2	看護学科は必須
		女性と家族		2	
		女子学		2	
		女性の歴史		2	
		女性とコミュニケーション		2	
		国際社会とジェンダー		2	
		女性と社会・仕事		2	
		女性と身体		2	
		女性のための法律		2	
	国際理解科目	ヨーロッパの文化		2	
		アジアの文化		2	
		現代ヨーロッパ事情		2	
		現代アジア事情		2	
		グローバル社会論		2	
		海外学習マネジメント		2	
		海外演習 A		1	
		海外演習 B		2	
	芸術科目	造形芸術（絵画）		2	
		造形芸術（彫刻）		2	
		音楽の基礎		2	
		合唱音楽		2	
		音楽鑑賞 A		2	
		音楽鑑賞 B		2	
		オルガン音楽（構造）		2	
		オルガン音楽（器楽）		2	
		オルガン音楽演習		2	
		日本の文化（茶道）		2	
	日本の文化（華道）		2		
	キャリア支援科目	他者のリーダーシップ開発A I		1	
		他者のリーダーシップ開発A II		1	
		他者のリーダーシップ開発B I		1	
		他者のリーダーシップ開発B II		1	
		ホスピタリティ入門		2	
		キャリアデザイン I		2	
		キャリアデザイン II		2	
		キャリアのための日本語		2	
キャリアのための数学(ベーシック)			2		
キャリアのための数学(スタンダード)			2		
キャリアのための時事問題		2			

群		授 業 科 目	単 位		備 考	
			必修	選択		
言語・情報科目	言語科目	英語	英語会話Ⅰ	2		
			英語会話Ⅱ	2		
			英語Ⅰ	2		
			英語Ⅱ	2		
	世界の言語		韓国語Ⅰ		2	
			韓国語Ⅱ		2	
			中国語Ⅰ		2	
			中国語Ⅱ		2	
			マレー・インドネシア語Ⅰ		2	
			マレー・インドネシア語Ⅱ		2	
情報科目		情報とコンピュータⅠ	1			
		情報とコンピュータⅡ	1			
		コンピュータと社会		2		
		情報メディア実習		1		
情報保障科目		手話コミュニケーション		2		
		ノートテイクの方法		2		
日本語	総合科目		日本語ⅠA		2	
			日本語ⅠB		2	
			日本語ⅡA		2	
			日本語ⅡB		2	
	目的別科目		日本語Ⅲ		2	
			日本語Ⅳ		2	
			日本語Ⅴ		2	
			日本語Ⅵ		2	
	日本語Ⅶ		2			
	日本語Ⅷ		2			

群	授 業 科 目	単 位		備 考	
		必修	選択		
健康・スポーツ 科目	生涯スポーツの科学		2		
	トレーニングの科学		2		
	健康・スポーツ科学実習 A		1		
	健康・スポーツ科学実習 B		1		
	健康・スポーツ科学実習 C		1		
	健康・スポーツ科学実習 D		1		
単位認定・互換協定科目	高大連携科目	大学講座Ⅰ		2	
		大学講座Ⅱ		2	
		大学講座Ⅲ		2	
		大学講座Ⅳ		2	
		大学講座Ⅴ		2	
		大学講座Ⅵ		2	
	留学	認定留学等一括認定		1～	
	単位互換協定科目	他大学単位互換協定科目Ⅰ		2	
		他大学単位互換協定科目Ⅱ		2	
		他大学単位互換協定科目Ⅲ		2	
		他大学単位互換協定科目Ⅳ		2	
		他大学単位互換協定科目Ⅴ		2	
		他大学単位互換協定科目Ⅵ		2	
		他大学単位互換協定科目Ⅶ		2	
		他大学単位互換協定科目Ⅷ		2	
		他大学単位互換協定科目Ⅸ		2	
		他大学単位互換協定科目Ⅹ		2	
		他大学単位互換協定科目ⅩⅠ		2	
		他大学単位互換協定科目ⅩⅡ		2	
		他大学単位互換協定科目ⅩⅢ		2	
他大学単位互換協定科目ⅩⅣ			2		
他大学単位互換協定科目ⅩⅤ			2		
他大学単位互換協定科目ⅩⅥ			2		
他大学単位互換協定科目ⅩⅦ			2		
他大学単位互換協定科目ⅩⅧ			2		
他大学単位互換協定科目ⅩⅨ			2		
他大学単位互換協定科目ⅩⅩ		2			
ボランティア	ボランティア活動Ⅰ		1		
	ボランティア活動Ⅱ		2		

別表第2 専攻科目表  
文学部日本語日本文化学科

群	授 業 科 目	単 位		備 考
		必修	選択	
必修科目	基礎演習	2		
	日本文学・文化入門	2		
	日本語学入門	2		
	ホスピタリティ入門	2		
	日本語の文章表現	2		
	日本語日本文学基礎演習	2		
日本語日本文学コース	日本語の音声・音韻		2	
	日本語の文法・文体		2	
	日本語の方言		2	
	日本語の語彙・文字・表記		2	
	日本語教育学入門		2	
	日本語教授法		2	
	日本語教育指導論		2	
	日本語の歴史		2	
	日本語教育授業研究		2	
	日本語教育と学習者		2	
	日本語教育実習研究		2	
	日本語教育実習		1	
	書道・書道史Ⅰ		2	
	書道・書道史Ⅱ		2	
	日本古典文学史		2	
	古典文学入門		2	
	古典文学購読		2	
	日本古典文学・文化A		2	
	日本古典文学・文化B		2	
	日本古典文学・文化C		2	
	日本古典文学・文化D		2	
	漢文学Ⅰ		2	
	漢文学Ⅱ		2	
	日本人は何を考えたのかⅠ		2	
	日本人は何を考えたのかⅡ		2	
	日本近代文化史		2	
	日本近代の文学A		2	
	日本近代の文学B		2	
	日本現代の文学A		2	
	日本現代の文学B		2	
	児童文学研究Ⅰ		2	
	児童文学研究Ⅱ		2	
	芸能文化論Ⅰ		2	
芸能文化論Ⅱ		2		

群	授 業 科 目	単 位		備 考
		必修	選択	
視 聴 覚 コ ミュ ニ ケ ー シ ョ ン コ ー ス	アナウンス入門		2	
	人間関係トレーニング		2	
	笑いの講座Ⅰ		2	
	笑いの講座Ⅱ		2	
	視聴覚コミュニケーション演習Ⅰ		2	
	視聴覚コミュニケーション演習Ⅱ		2	
	視聴覚コミュニケーション演習Ⅲ		2	
	視聴覚コミュニケーション演習Ⅳ		2	
	パブリックスピーキングⅠ		2	
	パブリックスピーキングⅡ		2	
	メディア論		2	
	新聞論		2	
	放送論		2	
	広告文化論		2	
	広報論		2	
	コミュニケーション産業論		2	
	マスコミ文章演習Ⅰ		2	
	マスコミ文章演習Ⅱ		2	
	日本のアニメーション		2	
	世界のアニメーション		2	
	映像文化研究A		2	
	映像文化研究B		2	
	マンガ文化史Ⅰ		2	
	マンガ文化史Ⅱ		2	
	マンガ表現論Ⅰ		2	
	マンガ表現論Ⅱ		2	
	演劇入門		2	
	作劇法		2	
宝塚歌劇講座A		2		
宝塚歌劇講座B		2		

群	授 業 科 目	単 位		備 考
		必修	選択	
ホスピタリティ コース	観光入門Ⅰ		2	
	観光入門Ⅱ		2	
	ホテル入門		2	
	旅の日本文化Ⅰ		2	
	旅の日本文化Ⅱ		2	
	神戸文化論A		2	
	神戸文化論B		2	
	観光実践論Ⅰ		2	
	観光実践論Ⅱ		2	
	旅行企画論Ⅰ		2	
	旅行企画論Ⅱ		2	
	観光資源論Ⅰ		2	
	観光資源論Ⅱ		2	
	インバウンド論		2	
	プロトコール入門(国際儀典)		2	
	ホスピタリティ・コミュニケーション論Ⅰ		2	
	ホスピタリティ・コミュニケーション論Ⅱ		2	
	ホスピタリティ論A		2	
	ホスピタリティ論B		2	
	神戸ホスピタリティ実践論		2	
ホスピタリティ・ツアーコンダクター演習		2		
ホスピタリティ・マネジメント論Ⅰ		2		
ホスピタリティ・マネジメント論Ⅱ		2		
エアラインビジネス入門		2		
エアラインサービス入門		2		
演習 科目	日本語日本文化演習Ⅰ	2		
	日本語日本文化演習Ⅱ	2		
	卒業研究Ⅰ	2		
	卒業研究Ⅱ	2		

## 文学部メディア表現学科

群	授 業 科 目	単 位		備 考
		必修	選択	
基礎科目	メディア表現入門	2		
	「メディア論」概論	2		
	メディアリテラシー論	2		
	デジタルメディア論	2		
	デジタル表現演習Ⅰ	2		
	デジタル表現演習Ⅱ	2		
	クリエイティブライティングⅠ	2		
	クリエイティブライティングⅡ	2		
演習科目	メディア表現入門演習Ⅰ	2		
	メディア表現入門演習Ⅱ	2		
	メディア表現発展演習Ⅰ	2		
	メディア表現発展演習Ⅱ	2		
	メディア表現研究演習Ⅰ	2		
	メディア表現研究演習Ⅱ	2		
	メディア表現卒業研究Ⅰ	4		
	メディア表現卒業研究Ⅱ	4		
メディア アスタ ダイ ーズ 領域	写真論		2	
	映画論		2	
	映像論		2	
	出版編集論		2	
	映像演出論		2	
	舞台芸術論		2	
	身体芸術論		2	
	文化記号論		2	
	広告文化論		2	
	文芸批評論		2	
	アニメーション理論		2	
	コンピュータグラフィックス		2	
	アニメ・マンガ文化論		2	
	アニメ・マンガ表現論		2	
	キャラクター文化論		2	
	現代美術論		2	
	デザイン論		2	
	サウンドデザイン		2	
	インテリアデザイン論		2	
	都市文化論		2	
メディアアート論		2		

群	授 業 科 目	単 位		備 考
		必修	選択	
メディア アクリエ ーション 領域	ストーリーテリングA		2	
	ストーリーテリングB		2	
	キャラクターデザインA		2	
	キャラクターデザインB		2	
	マンガ制作A		2	
	マンガ制作B		2	
	出版編集A		2	
	出版編集B		2	
	写真ワークショップ		2	
	Webデザイン		2	
	グラフィックデザインA		2	
	グラフィックデザインB		2	
	アニメーション制作A		2	
	アニメーション制作B		2	
	映像制作ワークショップA		2	
	映像制作ワークショップB		2	
	デジタル音楽編集		2	
	デジタルファブリケーション		2	
	プログラミングA		2	
	プログラミングB		2	
	モーショングラフィックスA		2	
モーショングラフィックスB		2		
フィジカルコンピューティングA		2		
フィジカルコンピューティングB		2		
身体表現		2		
ダンス・パフォーマンス演習		2		
メディア アプロ デュース 領域	コミュニティ論		2	
	クリエイティブ産業論		2	
	ワークショップデザインA		2	
	ワークショップデザインB		2	
	アートプロデュース		2	
	アートマネジメント		2	
	イベントプロデュース		2	
	コミュニティデザイン		2	
	映画宣伝ワークショップ		2	
	テレビ・ラジオ放送論		2	
	マスコミュニケーション論		2	
	インタビュー・レポート		2	
	MC・アフレコ		2	
	モード論		2	
	ブランド論		2	
	アニメ・マンガ産業論		2	
	ポピュラー音楽論		2	
	広報論		2	
	コスプレ文化論		2	
	演劇表現A		2	
	演劇表現B		2	



## 国際学部国際英語学科

群	授 業 科 目	単 位		備 考
		必修	選択	
演習科目	基礎セミナー I	2		
	基礎セミナー II	2		
	研究セミナー I	2		
	研究セミナー II	2		
	卒業研究 I	2		
	卒業研究 II	2		
e-pro 科目	英語コア科目			
	English Production and Fluency A I	2		
	English Production and Fluency A II	2		
	English Production and Fluency A III	2		
	English Production and Fluency A IV	2		
	English Production and Fluency B I	2		
	English Production and Fluency B II	2		
	English Production and Fluency B III	2		
	English Production and Fluency B IV	2		
	English Production and Fluency C I	2		
	English Production and Fluency C II	2		
	English Reading and Listening I	2		
	English Reading and Listening II	2		
	English to Go I	2		
	English to Go II	2		
	English to Go III	2		
	English to Go IV	2		
	Speaking Workshop I	2		
	Speaking Workshop II	2		
	Speaking Workshop III		2	
	Speaking Workshop IV		2	
	Advanced Writing I		2	
	Advanced Writing II		2	
	Advanced English Project I		2	
	Advanced English Project II		2	
	英語基礎 I		2	
	英語基礎 II		2	
	英語基礎 III		2	
	英語基礎 IV		2	
	英語基礎 V		2	
	英語基礎 VI		2	
	英語基礎 VII		2	
Reading Workshop I		2		
Reading Workshop II		2		

群	授 業 科 目	単 位		備 考	
		必修	選択		
e-pro科目	学習 スキル 科目	英語チュータリングⅠ	1		
		英語チュータリングⅡ	1		
	選 択 科 目	入門TOEIC演習A		2	
		入門TOEIC演習B		2	
		初級TOEIC演習A		2	
		初級TOEIC演習B		2	
		中級TOEIC演習A		2	
		中級TOEIC演習B		2	
		上級TOEIC演習A		2	
		上級TOEIC演習B		2	
World English Culture 科目	入 門 科 目	English in the World	2		
		英語圏文化入門		2	
		英語圏文学入門		2	
		英語研究入門		2	
		Introduction to English for Young Learners		2	
	研 究 科 目	英語圏の現在AⅠ		2	
		英語圏の現在AⅡ		2	
		英語圏の現在BⅠ		2	
		英語圏の現在BⅡ		2	
		文学へのアプローチAⅠ		2	
		文学へのアプローチAⅡ		2	
		文学へのアプローチBⅠ		2	
		文学へのアプローチBⅡ		2	
		英語圏のメディアとアートⅠ		2	
		英語圏のメディアとアートⅡ		2	
		ことばと文化Ⅰ		2	
		ことばと文化Ⅱ		2	
		日本語の表現・英語の表現Ⅰ		2	
		日本語の表現・英語の表現Ⅱ		2	
		異文化理解と英語教育Ⅰ		2	
		異文化理解と英語教育Ⅱ		2	
		外国語習得研究Ⅰ		2	
		外国語習得研究Ⅱ		2	
		英語文化プロダクション研究Ⅰ		2	
		英語文化プロダクション研究Ⅱ		2	
		選 択 科 目	英語文化プロダクション演習A		2
			英語文化プロダクション演習B		2
			英語文化プロダクション演習C		2

群	授 業 科 目	単 位		備 考
		必修	選択	
Professional and Career 科目	選 択 科 目		2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			2	
			1	
	1			
	1			

## 国際学部多文化コミュニケーション学科

群	授 業 科 目	単 位		備 考
		必修	選択	
異文化理解科目群	基礎科目	文化人類学	2	
	発展科目	アメリカ/カナダ文化・社会論		2
		ヨーロッパ文化・社会論		2
		中国文化・社会論		2
		韓国文化・社会論		2
		東南アジア文化・社会論		2
		オセアニア文化・社会論		2
		異文化理解論		2
多文化共生・国際理解科目群	基礎科目	グローバル・シティズンシップ入門	2	
		世界の近現代史	2	
		グローバル・イシューズ	2	
		多文化教育論		2
		多文化社会論		2
		マイノリティ・スタディーズ		2
		国際協力論		2
	GCP科目	留学事前研修		1
		留学事後研修		1
	発展科目	多文化共生論		2
		開発と女性		2
		環境と開発		2
		国際関係論		2
グローバル・キャリア科目	貿易実務基礎		2	
	グローバル・キャリア論	2		
	グローバル・ビジネス論		2	
行動科目群	基礎科目	フィールドワーク入門		2
		異文化間コミュニケーション論		2
		組織マネジメント入門		2
		ボランティア論		2
		NGO/NPO論		2
	GCP科目	行動演習 I		2
		行動演習 II		2
		海外行動演習 I		2
		海外行動演習 II		2
		GCP海外演習 A I		1
		GCP海外演習 A II		1
		GCP海外演習 B		2
		GCPフィールド実践演習 A I		1
		GCPフィールド実践演習 A II		1
		GCPフィールド実践演習 B		2
		NGO/NPOインターンシップ演習 I		2
		NGO/NPOインターンシップ演習 II		2
		グローバル・キャリア科目	グローバルキャリア演習 I	
	グローバルキャリア演習 II			1
	ソーシャル・ビジネス演習			2

群		授 業 科 目	単 位		備 考
			必修	選択	
リテラ シー 科目群	基礎 科目	日本語表現演習		2	
		メディアの読み方		2	
言語科 目群	基礎 科目	英語リスニングⅠ	2		
		英語リスニングⅡ	2		
		英語スピーキングⅠ	2		
		英語スピーキングⅡ	2		
		韓国語Ⅰ		2	
		韓国語Ⅱ		2	
		韓国語Ⅲ		2	
		韓国語Ⅳ		2	
		中国語Ⅰ		2	
		中国語Ⅱ		2	
		中国語Ⅲ		2	
		中国語Ⅳ		2	
		マレー・インドネシア語Ⅰ		2	
		マレー・インドネシア語Ⅱ		2	
		マレー・インドネシア語Ⅲ		2	
		マレー・インドネシア語Ⅳ		2	
		TOEICリーディング演習初級		2	
		TOEICリーディング演習中級		2	
		TOEICリスニング演習初級		2	
		TOEICリスニング演習中級		2	
		集中英会話		2	
		英語ライティングⅠ		2	
		英語ライティングⅡ		2	
		アクティブ・ランゲージ・ラーニングⅠ		1	
		アクティブ・ランゲージ・ラーニングⅡ		2	
		アクティブ・ランゲージ・ラーニングⅢ		2	
		アクティブ・ランゲージ・ラーニングⅣ		2	
		アクティブ・ランゲージ・ラーニングⅤ		2	
		上級TOEIC演習A		2	
		上級TOEIC演習B		2	
		韓国語演習Ⅰ		2	
		韓国語演習Ⅱ		2	
		韓国語演習Ⅲ		2	
		韓国語演習Ⅳ		2	
		中国語演習Ⅰ		2	
		中国語演習Ⅱ		2	
		中国語演習Ⅲ		2	
		中国語演習Ⅳ		2	
		マレー・インドネシア語演習Ⅰ		2	
		マレー・インドネシア語演習Ⅱ		2	
マレー・インドネシア語演習Ⅲ		2			
マレー・インドネシア語演習Ⅳ		2			

群	授 業 科 目	単 位		備 考	
		必修	選択		
言語科目群	発展科目	Global Current Affairs I		2	
		Global Current Affairs II		2	
		韓国語V		2	
		韓国語VI		2	
		中国語V		2	
		中国語VI		2	
		マレー・インドネシア語V		2	
		マレー・インドネシア語VI		2	
		韓国語実践会話I		2	
		韓国語実践会話II		2	
		中国語実践会話I		2	
		中国語実践会話II		2	
		マレー・インドネシア語実践会話I		2	
	マレー・インドネシア語実践会話II		2		
	キャリアアバ ル科目・	ビジネスコミュニケーション		2	
		ツーリズムの英語		2	
		貿易実務の英語		2	
		World Language特別演習I		2	
		World Language特別演習II		2	
		英語翻訳演習		2	
G C P 科目群 演習	基礎科目	基礎演習I	2		
		基礎演習II	2		
	発展科目	グローバル・シティズンシップ演習I	2		
		グローバル・シティズンシップ演習II	2		
		卒業研究I	2		
	卒業研究II	2			

## 人間科学部心理学科

必修	心理学概論Ⅰ（入門心理学A）	2		
	心理学概論Ⅱ（入門心理学B）	2		
	心理学統計法Ⅰ	2		
	心理学基礎ゼミナールⅠ	2		
	心理学基礎ゼミナールⅡ	2		
	心理学実験（心理学基礎実験Ⅱ）	2		
	心理学研究法（心理学研究法Ⅰ）	2		
	心理調査概論（心理学研究法Ⅱ）	2		
	心理学ゼミナールⅠ	2		
	心理学ゼミナールⅡ	2		
	卒業研究Ⅰ	4		
	卒業研究Ⅱ	4		
	心理測定法実習	2		
	心理調査法実習	2		
選択必修	公認心理師の職責		2	
	心理学的支援法		2	
	知覚・認知心理学（知覚心理学）		2	
	発達心理学		2	
	教育・学校心理学（教育心理学）		2	
	感情・人格心理学（人格心理学）		2	
	学習・言語心理学（学習心理学）		2	
	社会・集団・家族心理学		2	
	心理と福祉		2	
	心理学統計法Ⅱ		2	
	心理学統計法Ⅲ		2	
	心理データ解析		2	
	心理学特講		2	
	臨床心理学概論		2	
	児童臨床心理学		2	
	グループ・ダイナミックス		2	
	障害者・障害児心理学		2	
	心理的アセスメント		2	
	応用認知心理学（認知心理学）		2	
	比較心理学		2	
	神経・生理心理学		2	
	司法・犯罪心理学		2	
	福祉心理学		2	
	精神疾患とその治療		2	
	心理学応用実習		2	
	健康・医療心理学		2	
	産業・組織心理学		2	
	人体の構造と機能及び疾病		2	
	関係行政論		2	
	心理演習		2	
心理実習Ⅰ		1		
心理実習Ⅱ		1		
心理実習Ⅲ		1		

## 人間科学部総合子ども学科

群	授 業 科 目	単 位		備 考
		必修	選択	
必修	総合子ども学基礎演習Ⅰ	2		
	総合子ども学基礎演習Ⅱ	2		
	子ども学演習Ⅰ	2		
	子ども学演習Ⅱ	2		
	子ども学演習Ⅲ	2		
	子ども学演習Ⅳ	2		
	卒業研究演習	2		
選択必修	現代教育論		2	
	人間発達論		2	
	教育心理学		2	
	人間発達研究法		2	
	教育社会学		2	
	教育方法論		2	
	教育方法・技術論		2	
	教育におけるICT活用		1	
	教育課程論		2	
	教育史		2	
	教育相談		2	
	生涯学習論		2	
	子ども学		2	
	子ども家庭福祉論		2	
	保育原理		2	
	社会的養護		2	
	保育内容総論		1	
	保育相談支援		1	
	幼児教育学		2	
	幼児教育課程論		2	
	子ども社会学		2	
	遊び学習論		2	
	幼児理解		2	
	国際子ども理解		2	
	教職論		2	
	教育原理		2	
	幼児と健康	1		
	幼児と人間関係	1		
	幼児と環境	1		
	幼児と言葉	1		
	幼児と音楽表現	1		
	幼児と造形表現	1		
	保育内容の指導法（健康）		2	
保育内容の指導法（人間関係）		2		
保育内容の指導法（環境）		2		
保育内容の指導法（言葉）		2		
保育内容の指導法（表現）		2		



群	授 業 科 目	単 位		備 考
		必修	選択	
選択必修	初等教科教育法（国語）		2	
	初等教科教育法（社会）		2	
	初等教科教育法（算数）		2	
	初等教科教育法（理科）		2	
	初等教科教育法（生活）		2	
	初等教科教育法（音楽）		2	
	初等教科教育法（図画工作）		2	
	初等教科教育法（家庭）		2	
	初等教科教育法（体育）		2	
	初等教科教育法（英語）		2	
	道德教育の指導法		2	
	特別活動の指導法		1	
	総合的な学習の時間の指導法		2	
	生徒指導・進路指導論		2	
	教育実習Ⅰ		1	
	教育実習Ⅱ		4	
	教職実践演習（幼・小）		2	
	国語概論		2	
	社会概論		2	
	算数概論		2	
	理科概論		2	
	生活概論		2	
	家庭概論		2	
	英語概論		2	
	器楽・声楽Ⅰ		1	
	器楽・声楽Ⅱ		1	
	絵画・造形Ⅰ		1	
	絵画・造形Ⅱ		1	
	体育Ⅰ		1	
	体育Ⅱ		1	
	社会福祉学		2	
	社会福祉援助技術		1	
	子どもの保健		2	
	子どもの食と栄養		2	
	家庭支援論		2	
	乳児保育Ⅰ		2	
	乳児保育Ⅱ		2	
	特別支援教育		2	
	社会的養護内容		1	
	保育実習ⅠA		2	
	保育実習ⅠB		2	
	保育実習指導ⅠA		1	
	保育実習指導ⅠB		1	
	子育て支援論		2	
	地域福祉論		2	
	保育実習Ⅱ		2	
	保育実習指導Ⅱ		1	
	保育実習Ⅲ		2	
	保育実習指導Ⅲ		1	
	保育の表現技術		2	

群	授 業 科 目	単 位		備 考
		必修	選択	
選 択 必 修	総合表現		2	
	子どもと遊び文化Ⅰ		2	
	子どもと表現Ⅰ		2	
	子どもと表現Ⅱ		2	
	子どもと遊び文化Ⅱ		2	
	子どもの医療と安全		2	
	病児保育演習		2	
	子ども家庭支援の心理学		2	
自 由 選 択	教職実践基礎演習Ⅰ		2	
	教職実践基礎演習ⅡA		2	
	教職実践基礎演習ⅡB		2	
	教職実践基礎演習ⅢA		2	
	教職実践基礎演習ⅢB		2	
	教職実践基礎演習Ⅳ		2	
	幼保実践演習Ⅰ		2	
	海外演習		2	
	幼保実践演習Ⅱ		2	

## 人間科学部文化社会学科

群	授 業 科 目	単 位		備 考
		必修	選択	
必修	文化社会学基礎演習Ⅰ	2		
	文化社会学基礎演習Ⅱ	2		
	社会調査演習	2		
	文化社会学情報演習	2		
	文化社会学概論	2		
	文化社会学演習Ⅰ	4		
	文化社会学演習Ⅱ	4		
	卒業研究Ⅰ	4		
	卒業研究Ⅱ	4		
選択必修	総合科目・文化社会学Ⅰ		2	
	総合科目・文化社会学Ⅱ		2	
	現代社会論		2	
	家族社会学		2	
	はじめての社会調査		2	
	フィールドワーク演習		2	
	インターネット社会論		2	
	ジェンダー論		2	
	ファッション・ビューティー論		2	
	ポピュラーカルチャー論		2	
	音楽社会学		2	
	都市社会学		2	
	現代宗教論		2	
	ボランティアネットワーク論		2	
	観光社会学		2	
	ケアの社会学		2	
	社会学の歴史		2	
	フィクションの社会学		2	
	文化遺産の社会学		2	
	文化メディア論		2	
	エスノグラフィを読む		2	
	食文化論		2	
	雑誌文化論		2	
	コミュニケーション論		2	
	理論社会学		2	
	消費文化論		2	
	スポーツ社会学		2	
	文化社会論A		2	
	文化社会論B		2	
	文化社会論C		2	
	文化社会論D		2	
社会問題の社会学		2		

## 人間科学部生活環境学科

群	授 業 科 目	単 位		備 考
		必修	選択	
必修	生活環境学入門	2		
	生活環境学総論	2		
	生活環境学基礎演習Ⅰ	2		
	生活環境学基礎演習Ⅱ	2		
	生活環境学基礎演習Ⅲ	2		
	生活環境学演習Ⅰ	2		
	生活環境学演習Ⅱ	2		
	卒業研究Ⅰ	4		
	卒業研究Ⅱ	4		
選択必修	女性健康マネジメント論		2	40単位以上選択必修
	健康栄養学		2	
	生涯スポーツ論		2	
	トレーニング論		2	
	レクリエーション論		2	
	レクリエーション実技A		1	
	レクリエーション実技B		1	
	居住環境論		2	
	住生活デザイン論		2	
	ハウジング論		2	
	ハウジングデザイン実習		1	
	住居史		2	
	インテリアデザイン		2	
	インテリアコーディネート論		2	
	インテリアコーディネート実習		1	
	カラーコーディネート論		2	
	カラーコーディネート実習		1	
	衣生活デザイン論		2	
	アパレル素材論		2	
	ファッション論		2	
	服飾文化論		2	
	服飾デザイン論		2	
	服飾デザイン実習		1	
	食生活デザイン論		2	
	フードコーディネート論		2	
	調理学		2	
	食品加工実習		1	
	食品開発実習		1	
	製菓実習		1	
	ユニバーサルデザイン論		2	
	暮らしと環境		2	
環境アメニティ論		2		
現代環境論		2		
循環型社会論		2		

群	授 業 科 目	単 位		備 考
		必修	選択	
選 択 必 修	生活法学		2	
	生活経済学		2	
	ファイナンス論		2	
	社会保障論		2	
	生活環境学特別演習		2	

## 看護リハビリテーション学部看護学科

群	授 業 科 目	単 位		備 考	
		必修	選択		
専門基礎科目	解剖学	2		26単位以上	
	生理学	2			
	微生物学	1			
	病理学	1			
	薬理学	1			
	栄養学総論	1			
	疾病治療論Ⅰ	2			
	疾病治療論Ⅱ	2			
	疾病治療論Ⅲ	2			
	公衆衛生学	2			
	医療と社会福祉学	2			
	保健統計学	1			
	疫学	1			
	保健情報学	1			
	臨床心理		1		
	国際保健		1		
	基礎ゼミ	1			
	多文化理解のための看護英語Ⅰ		1		
	多文化理解のための看護英語Ⅱ		1		
	多文化理解のための看護英語Ⅲ		1		
	多文化理解のための看護英語Ⅳ		1		
	多職種連携実践科目	リハビリテーション概論	1		
		医療コミュニケーション論	1		
		理学・作業療法論			1
		医療リスクマネジメント	1		
		医療倫理			1
		チームケア論	1		



群	授 業 科 目	単 位		備 考
		必修	選択	
専 門 科 目	看 護 実 践 統 合 科 目	看護研究Ⅰ	2	
		臨床判断	2	
		看護倫理	1	
		看護管理学	1	
		看護教育学	1	
		統合実習	3	
		看護研究Ⅱ	2	
		家族看護論	1	
		エンド・オブ・ライフケア論	1	
		災害看護学	1	
		看護総合演習	1	
	地 域 健 康 支 援 科 目	公衆衛生看護学概論	2	
		公衆衛生看護学活動論Ⅰ	1	
		公衆衛生看護学活動論Ⅱ		2
		公衆衛生看護学方法論Ⅰ		2
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ		2
		公衆衛生看護学方法論Ⅲ		2
		学校保健学概論		2
		保健医療福祉行政論Ⅰ		1
		保健医療福祉行政論Ⅱ		1
		公衆衛生看護学実習Ⅰ		3
		公衆衛生看護学実習Ⅱ		3
	女 性 健 康 支 援 科 目	医療遺伝学		1
		生殖科学		1
		新生児学		1
		助産学原論		2
		地域母子保健学		1
		助産診断技術学Ⅰ		2
		助産診断技術学Ⅱ		2
		助産診断技術学Ⅲ		2
		助産診断技術学演習		2
		統合助産		1
		助産管理		1
		助産学実習Ⅰ		2
		助産学実習Ⅱ		6
	実 践 科 目	学校保健（学校安全含む）		2
		養護学概説		2
健康相談活動論			2	



## 看護リハビリテーション学部理学療法学科

群	授 業 科 目	単 位		備 考	
		必修	選択		
専 門 基 礎 科 目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体の構造Ⅰ	1		
		人体の構造Ⅱ	1		
		人体の構造Ⅲ	1		
		人体の生理機能Ⅰ	1		
		人体の生理機能Ⅱ	1		
		人間発達学	1		
		運動学Ⅰ	1		
		運動学Ⅱ	1		
		運動学演習	1		
		臨床運動学	1		
		運動生理学	1		
		人体の構造演習Ⅰ	1		
		人体の構造演習Ⅱ	1		
	人体の生理機能演習	1			
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	精神医学	1		
		整形外科学	2		
		内部障害学	2		
		神経内科学	2		
		小児科学	2		
		臨床薬学	1		
栄養学総論		1			
救急法		1			
臨床医学概論		1			
臨床心理	1				
医療ソーシャルワーク論		2			
婦人科学		1			

群		授 業 科 目	単 位		備 考
			必修	選択	
専門基礎科目	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	作業療法概論		1	
		看護学概説		1	
		リハビリテーション概論	1		
		地域ケア論	2		
		医療コミュニケーション論	1		
		チームケア論	1		
		国際保健		1	
		統計学		2	
専門科目	基礎理学療法学	理学療法概論	1		
		基礎ゼミⅠ	1		
		基礎ゼミⅡ	1		
		応用ゼミⅠ	1		
		応用ゼミⅡ	1		
		研究ゼミⅠ	1		
		研究ゼミⅡ	1		
		理学療法研究法	1		
		卒業研究	2		
		運動療法学	1		
		運動療法学演習	1		
	理学療法管理学	職場管理学	1		
		医療倫理	1		
		医療リスクマネジメント論	1		
	理学療法評価学	理学療法評価学	2		
		理学療法評価学演習	2		
		理学療法計画論Ⅰ	1		
		理学療法計画論Ⅱ	1		

群	授 業 科 目	単 位		備 考	
		必修	選択		
専 門 科 目	筋骨格障害理学療法学Ⅰ	1			
	筋骨格障害理学療法学Ⅱ	1			
	物理療法学	1			
	物理療法学演習	1			
	中枢神経障害理学療法学	1			
	中枢神経障害理学療法学演習	1			
	小児期障害理学療法学	1			
	スポーツ障害理学療法学	1			
	義肢装具学	1			
	義肢装具学演習	1			
	内部障害理学療法学	2			
	内部障害理学療法学演習	1			
	神経筋障害理学療法学	2			
	脊髄障害理学療法学	1			
	理学療法総合演習	3			
	日常生活動作学	1			
	ウィメンズヘルス	1			
	療 理 地 法 学 域	地域理学療法学	1		
		福祉用具・生活環境論	2		
	臨 床 実 習	臨床実習Ⅰ	1		
地域理学療法実習		1			
臨床実習Ⅱ		7			
総合臨床実習		11			

## 医療栄養学部医療栄養学科

群	授 業 科 目	単 位		備 考	
		必修	選択		
分 導 野 入	管理栄養士入門	1			
	基礎ゼミⅠ	1			
	基礎ゼミⅡ	1			
専 門 基 礎 分 野	境 社 と 会 健 康 ・ 環 境	公衆衛生学Ⅰ	2		
		公衆衛生学Ⅱ	2		
		保健医療福祉学	2		
		栄養情報処理学演習	1		
	人 体 疾 病 の 構 造 と 機 能 成 り 立 ち 及 び	臨床医学概論	2		
		解剖学	2		
		生理学	2		
		生化学	2		
		微生物学	1		
		分子栄養学	2		
		運動生理学	1		
		病理学	1		
		免疫学	1		
		薬理学	1		
		解剖学・組織学実習	1		
		生理学実習	1		
		生化学実験	1		
	分子栄養学実験	1			
	食 べ 物 と 健 康	食品学総論	2		
		食品学各論	2		
		食品機能科学	1		
		食品衛生学	1		
		調理学	2		
		食品学実験Ⅰ	1		
		食品学実験Ⅱ	1		
		食品衛生学実験	1		
		調理学実習Ⅰ	1		
		調理学実習Ⅱ	1		
		応用調理学実習	1		

群	授 業 科 目	単 位		備 考	
		必修	選択		
専門分野	学 基 養 礎	基礎栄養学	2		
		基礎栄養学実験	1		
	栄 養 学 応 用	栄養管理学	2		
		ライフステージ栄養学	2		
		栄養生理学	2		
		応用栄養学実習	1		
	教 育 栄 養 論	栄養教育論	2		
		栄養教育実践論	2		
		栄養教育演習	2		
		栄養教育実習	1		
	臨 床 栄 養 学	臨床栄養学Ⅰ	2		
		臨床栄養学Ⅱ	2		
		臨床栄養学Ⅲ	2		
		臨床栄養学演習	2		
		病棟栄養管理学	2		
		医療・地域・福祉栄養管理論	2		
臨床栄養学実習Ⅰ		1			
臨床栄養学実習Ⅱ		1			
栄 養 学 公 衆	公衆栄養学	2			
	地域栄養活動論	2			
	公衆栄養学実習	1			
管 理 給 食 経 営 論	給食経営管理論Ⅰ	2			
	給食経営管理論Ⅱ	2			
	給食経営管理論実習Ⅰ	1			
	給食経営管理論実習Ⅱ	1			
演 習 総 合	医療栄養学総合演習Ⅰ	1			
	医療栄養学総合演習Ⅱ	1			
臨 地 実 習	臨床栄養学臨地実習Ⅰ	1			
	臨床栄養学臨地実習Ⅱ	1			
	臨床栄養学臨地実習Ⅲ		1		
	公衆栄養学臨地実習		1		
	給食経営管理論臨地実習		1		
	給食の運営校外実習	1			
発 展 分 野	医療リスクマネジメント	1			
	医療倫理	1			
	多職種コミュニケーション論	1			
	チームケア論		1		
	臨床栄養英語		2		
	病棟栄養管理学実習		1		
	医療栄養学特別演習Ⅰ	1			
	医療栄養学特別演習Ⅱ		1		
	医療栄養学特別演習Ⅲ	1			
	医療栄養学特別演習Ⅳ		1		
卒業研究	2				

## 教職の資格取得に関する科目

授 業 科 目	単 位		備 考
	必修	選択	
教職論（中高・養・栄）		2	
教育原理・教育課程論（中高・養・栄）		2	
国語科教育法Ⅰ		2	
国語科教育法Ⅱ		2	
国語科教育法Ⅲ		2	
国語科教育法Ⅳ		2	
英語科教育法Ⅰ		2	
英語科教育法Ⅱ		2	
英語科教育法Ⅲ		2	
英語科教育法Ⅳ		2	
道徳教育の指導法（中高・養・栄）		2	
教育方法論・総合的な学習の時間の指導法（中高・養・栄）		2	
教育におけるICT活用（中高）		1	
特別活動の指導法（中高・養・栄）		2	
生徒指導・進路指導論（中等）		2	
教育相談（中高・養・栄）		2	
教育実習Ⅰ（中高）		1	
教育実習Ⅱ（中高）		4	
教職実践演習（中・高）		2	
介護等体験		1	
教育制度論（中高・養・栄）		2	
教育心理学（中高・養・栄）		2	
特別支援教育（中高・養・栄）		2	
養護実習Ⅰ		1	
養護実習Ⅱ		4	
教職実践演習（養護教諭）		2	
生徒指導論		2	
学校栄養教育実習事前事後指導		1	
学校栄養教育実習		1	
教職実践演習（栄養教諭）		2	
学校栄養教育論		2	
学校栄養教育実践法		2	

## 司書の資格取得に関する科目

授 業 科 目	単 位		備 考
	必修	選択	
図書館概論		2	
図書館制度・経営論		2	
図書館情報技術論		2	
図書館サービス概論		2	
情報サービス論		2	
児童サービス論		2	
情報サービス演習Ⅰ		1	
情報サービス演習Ⅱ		1	
図書館情報資源概論		2	
情報資源組織論		2	
情報資源組織演習Ⅰ		1	
情報資源組織演習Ⅱ		1	
図書館基礎特論		2	
図書館サービス特論		2	
図書館情報資源特論		2	
図書・図書館史		2	
図書館施設論		2	

## 学芸員の資格取得に関する科目

授 業 科 目	単 位		備 考
	必修	選択	
博物館概論		2	
博物館資料論		2	
博物館教育論		2	
博物館情報・メディア論		2	
博物館経営論		2	
博物館資料保存論		2	
博物館展示論		2	
博物館実習		3	

## フーズスペシャリストの資格取得に関する科目

授 業 科 目	単 位		備 考
	必修	選択	
フーズスペシャリスト論		2	
食品評価論		2	
食品の官能評価・鑑別演習		1	
食品加工学		2	
食品学		2	
食品学実験		1	
食環境衛生学		2	
食生活実習Ⅰ		1	
食生活実習Ⅱ		1	
食の経済学		2	

## レクリエーション・インストラクターの資格取得に関する科目

授 業 科 目	単 位		備 考
	必修	選択	
レクリエーション実習		1	

## 別表第2の2 附則第1項ただし書で定める授業科目群

(次の表略)



別表第3

(単位：円)

学部・学科		費目	年額				備考
			1年次	2年次	3年次	4年次	
文学部	全学科	入学金	250,000	—	—	—	
		授業料	760,000	760,000	760,000	760,000	
		教育施設 充実費	350,000	390,000	390,000	390,000	
国際学部	全学科	入学金	250,000	—	—	—	
		授業料	760,000	760,000	760,000	760,000	
		教育施設 充実費	350,000	390,000	390,000	390,000	
人間科学部	その他学科	入学金	250,000	—	—	—	
		授業料	760,000	760,000	760,000	760,000	
		教育施設 充実費	350,000	390,000	390,000	390,000	
	学総 合子 ども 科も	入学金	250,000	—	—	—	
		授業料	760,000	760,000	760,000	760,000	
		教育施設 充実費	350,000	420,000	420,000	420,000	
看護リハビリテーション学部	看護学科	入学金	250,000	—	—	—	
		授業料	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
		教育施設 充実費	600,000	720,000	720,000	710,000	
	理学療法学科	入学金	250,000	—	—	—	
		授業料	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
		教育施設 充実費	680,000	770,000	770,000	760,000	
医療栄養学部	医療栄養学科	入学金	250,000	—	—	—	
		授業料	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
		教育施設 充実費	430,000	430,000	430,000	430,000	

別表第4

(単位：円)

費目	年額	備考
復籍料	100,000	